

ようこそ！ハムスター

ふちんかん

子どもにそれなりに責任感が芽生えてきたので、ハムスターを飼い始めることにした。うちにハムスターがやってきてからわずか1ヶ月半、なんやかやありますな。

購入 箕面のペットショップで予約。これからも相談事をすることもあるだろうから、相棒さんの職場近くの店にした。ゴールデンハムスターならいつでも売っているかと思っていたが、繁殖期（春・秋）を過ぎるとすぐに手に入らないこともあるらしい。で、二匹予約していたのだが、一匹がやたら噛み癖のあるヤツだということで、お店の方から一匹にするようアドバイス。良心的な店ですな。けっきょくもう一匹はホームセンターで。どちらも1000円未満。命の値段って……。ケージや敷きワラ・ペレットなど飼育セットの方がはるかに高い。

生活 昼間は小屋の中にこもりっきり。綿や敷きワラを取り込んで中心で丸まっているので姿さえ見えない。夕方に子どもたちが水替えやエサやりをすると小屋から出てくるが、エサを頬袋に詰め込んで小屋の中に持ち込んで食べることが多い。

夜になると出てきて廻し車をする。廻し車は10秒くらい廻すと立ち止まって立ち上がり、また廻す、を繰り返す。いちおう周囲を警戒しているのだろうか。

最近ではケージの金網をよじ登るのも覚えた。私が子どものころに買っていたハムスターはケージが上部まで金網になっていたもので、雲梯のように端から端まで渡っていたものだ。いまのケージは上部がプラ製のふたになっていてそれは無理。ただ三階建て構造になっているので上がったり下がったり、懸垂のようによじ登ったり飛び降りたりと立体的に遊んでいるようだ。

また金網は囓る対象でもあるようだ。専用の囓り木やかまぼこ板などもよく囓る。ちなみにヒトもやっぱり囓る……。

食糞 ハムスターは自分のフンを食べる。吸収が不十分なのでまだまだ栄養分が残っているのだろう。飼う前に本で読んで知っていたが、はじめて見るとやはり驚く。ただ最近ではエサが十分あることが分かっただけで食べなくなったようだ。

脱走 先日、気づいたら机の下の足元にいた。びっくりした。子どもが掃除した後、ふたをしっかりと閉めてなかったらしい。なかなか捕まえられなかったが、ゴミ箱に追い込むようにして捕獲。ゴミ箱の中でさっそくミカンの皮を囓っていた。

冬眠 脱走した方が、その2日後、いきなり疑似冬眠に入った。小屋から取り出すと冷たくなって固くなっていた。たしかに雪のちらつく寒い日ではあったが、断熱性の高いマンションのリビングで飼っているのだから、まさかという感じだ。そのまま死んでしまうことも多いらしいので蘇生させることに。手であたたため、カイロであたたためして1時間くらいで、硬直していた体が柔らかくなり生気を取り戻した。目を開けて意識も戻ったが活動する気はないらしい。この話はこの原稿を書いている前日の話なので現在進行形。どうなることか。